

『経営研究』への投稿について

大阪公立大学経営学会

【最新改訂】2024年5月

1. 経営学会の会員は、『経営研究』に投稿することができます。複数の著者による共著論文を投稿する場合には、そのすべての著者が経営学会に入会することを条件とします。なお、次の場合は認められることがありますので、詳しくは編集委員会までご相談ください。
 - ① 経営学研究科・商学部が招聘した国際学術交流研究者
 - ② 正会員と共同執筆する大学、研究機関等の研究者
 - ③ 編集委員会が編集上必要と認めるとき（編集委員会から委嘱します）
2. 投稿は随時受け付けます。
3. 投稿原稿は2部提出下さい。また、原稿提出票を提出して下さい。
4. 投稿原稿の採否は、審査委員（レフェリー）の審査に基づき、編集委員会で決定します。なお、原稿執筆者に対してレフェリーの名前は通知しません。
5. レフェリーによる審査結果は原則として2ヶ月以内に通知しますが、事情によりそれ以上の時間がかかることがあります。
6. レフェリーの審査により書き直しとなった原稿については、2ヶ月以内に再提出して下さい。なお、なるべく早い再提出が望ましいです。
7. 投稿原稿の書き直しは、レフェリーから修正の要求があった箇所のみ留めて下さい。レフェリーの指摘に基づかない書き直しが行われると、再度、最初からの査読が必要になります。なお、レフェリーのコメントが提出原稿に記入された場合には、修正原稿提出時に、返却された原稿そのものを併せて提出していただくことがあるので、その原稿を保存しておいて下さい。
8. 投稿原稿がどの号に掲載されるかは一切保証しません。審査によって掲載が認められた論文から順に掲載します。各号の発行予定時期につきましては、別紙をご覧ください。
9. 一冊の『経営研究』に掲載される大学院生の論文数は、最大でも5本までです。
10. 大学院生が原稿を提出する際には、原稿提出票に、指導教員の署名または押印が必要です。指導教員の署名または押印がもらえない特別な事情がある時は、助言教員からもらって下さい。

投稿から掲載までの流れ

1. 投稿原稿を提出
2. エディターによる形式・内容審査
3. 場合によっては、投稿者による原稿書き直し・再提出
4. レフェリーによる審査
5. 審査結果の通知
6. 投稿者による書き直し・再提出
7. レフェリーあるいはエディターによる再審査
8. 掲載についての決定と通知
9. 原稿とそのファイルを保存した 3.5 インチのフロッピーディスクの提出（これらが『経営研究』各号の締切日までに提出されたとき、原則としてその号に掲載されます。締切日についての詳細は経営学会事務局にお尋ね下さい。）
10. 投稿者による校正刷の確認
11. 『経営研究』に掲載